



向こころ保育園

みらい

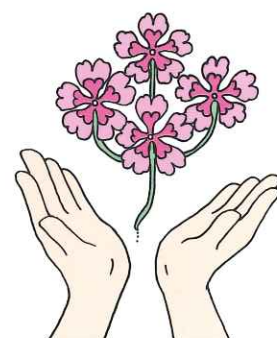
2014.8
夏号

11

一般社団法人 さいたま市私立保育園協会 広報誌

Contents

- 社会福祉法人の役割 …P2・3
- 保育士アンケートに関するご意見…P4・5
- 第6回定時総会開催・部会活動…P6
- 夏のオススメメニュー…P7
- わくわくがいっぱい!・新会員紹介・編集後記…P8



社会福祉法人の役割

一般社団法人さいたま市私立保育園協会

会長 剣持 浩

社会福祉法人の在り方が問われる

七月に、朝日新聞で社会福祉法人の利権問題や在り方について連載されていました。テーマは「報われぬ国——負担増の先」として「社福、親族企業に利益」「社福利権——飛び交う金」「事業拡大——現金ばらまく：社福と地方政治」といった記事が目につくことができます。このように社会福祉法人問題が取り上げられるようになった背景に何があるのか考えてみる必要があります。さいたま市私立保育園協会の5月の定時総会の事業計画で社会福祉法人を取り巻く問題について触れました。認可保育園が行政から委託されて運営している立場上、今問われている社会福祉法人問題について避けて通ることは出来ない状況にあります。この問題で問われている内容と社会福祉法人の課題を見ていくことが必要です。

法人が問われるきっかけは？

平成22年6月4日に「新しい公共」円卓

会議で「新しい公共」宣言が発表されました。民主党鳩山政権の時です。これを読んだとき、私は、今後の社会福祉法人を左右する重要な問題提起がされているのではと危惧しました。次のように述べています。「……少子化が進み、成熟期に入った日本社会ではこれまでのように、政府がカネやモノをどんどんつぎ込むことで社会問題を解決することはできないし、われわれも、そのような道を選ばない。」として、「新しい公共」によって「支え合いと活気のある」社会を実現するよう提言しています。そして、昔は共同体としての地域の「公共」があつたことを「思い出し……周りの人々と協働すること」で絆を作り直すという機運を高めよう、と呼びかけました。そして、「新しい公共」を作るために「新しい公共の主役は、一人一人の国民にあり」政府に対しては「政府と国民の在り方を大胆に見直す」必要があると述べています。「具体的なイメージ」では市民が所得の1%を寄付、経団連の1%クラブ、SVP東京は社会人一人あたり10万円の寄付を原資に

社会的課題に取り組む事例が紹介されているのです。

ここで示された「新しい公共」の概念はすでに崩壊した地域共同体の復古を呼びかけると同時に、政府の役割を矮小化し国民一人一人の「役割」にすり替えられていると言えます。社会的弱者への支え、国民一人一人が豊かに生きるために自立した支え合いはきわめて重要な課題ですが、しかし、「新しい公共」の中で述べられているのは、国の役割を後退させ、国に頼ることなく自助努力せよと強調し、「福祉」という言葉は皆無でその概念すら避けられているのではないかと読み取りました。

今、何が問題か

その後、社会福祉をめぐる問題は次々と報道されるようになりました。これと前後して「週刊ダイヤモンド」で「保育園業界のムダと闇——社会福祉法人はすべて善で株式会社はすべて悪なのか？」という特集を掲載しています。編集部は「株式会社」の参入には拒否反応を示す社会福祉法人は、株式会社は利潤を追求し保育の質は二の次だと言うが、本当にそうだろうか。社会福祉法人は曇りの無い経営をしているのだろうか」と前置きし、社会福祉法人の税の優遇性（法人税、事業税、住民税、消費税、固定資産税は非課税）を上げて、株式会社には無い優遇措置を指摘しています。その後、株式会社とのイコールフットイング（事業者間に

おける公平性）問題、社会福祉法人の内部留保問題、……そして、冒頭で紹介した朝日新聞の記事につながっていくのです。WEDGE 3月号に上智大学の藤井賢一郎教授が「保育所が増えない一要因に社会福祉法人の存在がある。補助金の使途制限や保育の質維持の理想論を隠れ蓑に、業務改善や効率化を怠り、時代に即したサービス提供が進まない。今こそ岩盤既得権にメスを入れ、本来あるべき社会福祉の姿を取り戻すときである。」と述べ、広島県内での保育所を運営する法人で2億8000万円の保育所運営費の使途不明金が見つかった事例や、行政の指導・監査がありながら「理事長やその一族が……不当に私的な利益を得る例も一部に見られ……理事長ら2人に、4年間で約1億5700万円の給与が払われ、業務外の渉外費などが約1800万円に上った事例」などを紹介しています。私腹を肥やすこのような一部の社会福祉法人の問題をきっかけにして（あるいは意図的に）公益性を前面に展開して地域で健全な福祉事業を展開している多くの社会福祉法人が攻撃されることは本質を誤る危険性を持っています。こうした事例が物語っている背景をどう考えれば良いのでしょうか。地方自治体の指導・監査のあり方も洗い出すことも必要です。

「社会福祉法人制度の見直しについて」

規制改革会議は今年の4月16日に「介護・保育事業などにおける経営管理の強

化とイコールフットイング確立に関する意見」について発表しました。この中で事業者のガバナンスとして、財務諸表の情報開示や役員報酬などの開示、内部留保の明確化、所轄庁による指導・監督の強化が上げられています。また、イコールフットイングとして、参入規制の廃止や経営主体による差異をもうけないこと、社会貢献活動を行わない社会福祉法人に対して所轄庁が「業務の全部もしくは一部の停止や役員の解雇の勧告、さらには解散を命ずる」と述べているのです。情報開示については、すでに厚労省が5月29日に社会福祉法人に対して①「現況報告書」を統一書式として電子ファイルで提出すること（既に今年から実施）、②貸借対照表、収支計算書は電子ファイルで提出すること、③①②は各法人がインターネットで公表すること、と通達をしました（詳細は全保協ニュースNo.14-2）。

そして、7月4日には厚労省の社会福祉法人の在り方等に関する検討会が「社会福祉法人制度の在り方について」を発表しました（是非一読することを勧めます）。

こうした背景には、社会福祉法人が公の支配に属する法人として補助金の優遇性を受け、きわめて高い公益性を持つており「社会福祉法人制度の見直し……」（案）では「旧民法第34条に基づく公益法人としての性格を有している」と述べ、社会福祉法人制度の変化及び制度を取り巻く状況の変化について、具体的に述べられており、課題についても言及しています。地域住民や利用者から十分な評価

を得られるような仕組みが弱いこと、財務状況や事業運営が不透明なこと、家族経営による私物化といった運営がまかり通ったり、社会福祉事業への投資や地域還元しない内部留保問題、他の経営主体との公平性（イコールフットイング）が、ここでも指摘されています。

ここで指摘されている社会福祉法人の透明性、公開性、公益性はきわめて重要なことで有り、当たり前のことです。こうしたことに行政も指導してこなかった問題もあるでしょう。こうした改革が福祉事業を形骸化することなく展開されていくことを願います。

曲がり角にきた社会福祉法人

前述したように、社会福祉法人をめぐる問題は法人の在り方まで含めて多岐にわたっています。言い換えれば昭和26年に社会福祉法が成立してから社会保障制度と関連しながら福祉の環境も大きな変遷を遂げてきたことは否定できません。皆さんもご存じのように平成9年の介護保険制度の創設、平成12年に社会福祉基礎構造改革（措置制度から契約制度へ）、そして、こうした流れの延長として平成24年8月に子ども子育て3法が成立し、戦後の保育制度の大きな改革が進められています。

ここで指摘しておきたいことは、保育制度問題と社会福祉法人問題は切り離して考えることは出来ないとい私は考えます。いわゆる他の事業体・株式会社も含めて

のイコールフットイングが進められれば、社会福祉法に基づく社会福祉法人の役割が骨抜きにされるのではないかと心配です。社会福祉法人の有り様が保育園の経営に直接つながるし、福祉としての保育園の役割が骨抜きになったとき社会福祉法人の解体につながりはしないかと危惧するものです。認定こども園は直接契約であり、これまでの保育園とは180度違います。直接契約はやがて社会福祉法に基づく福祉という役割が希薄化され、それが社会福祉法人を弱体化されることにつながるのではないのでしょうか。

現在、埼玉県社会福祉協議会は「社会福祉法人社会貢献活動推進協議会」を立ち上げ、法の隙間にある生活困窮世帯への支援に取り組もうと呼びかけています。社会福祉法人にとってはこの取り組みは

きわめて重要な意味を持つことになるでしょう。

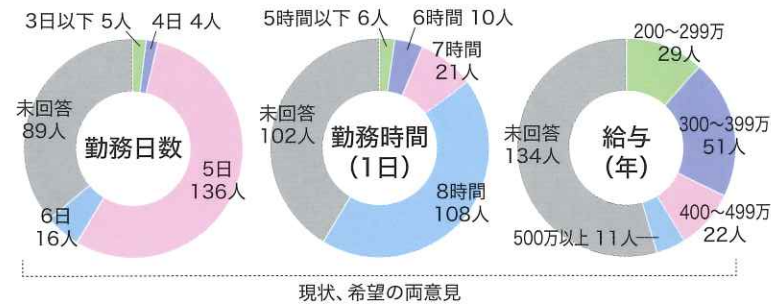
さいたま市私立保育園協会は加盟園のうち、社会福祉法人立保育園が90%を超える協会として、各法人が公益法人としてどのように地域の中で力を発揮できるかが問われていくでしょう。自ら募穴を掘るようなことがないように、社会福祉法及び児童福祉法の理念と目的に沿って事業を進めていく、そうした原点に立つことが今求められています。



保育士アンケート に関するご意見

9号の保育士アンケートについて多数の意見を寄せていただきました。ありがとうございました。
重複するご意見につきましては、まとめてあります。いただいたご意見と若干違う表現がありますことを予め承知おください。

保育士として働く場合に求める条件(複数回答可)



働く条件として「人間関係が良い」事が一番にあげられていました。どの職場でも共通していると思います。職員は日々子どもや保護者対応に一喜一憂しているだけに、一番の味方となる(なって欲しい)同僚との関係がうまくいっていることがとても大切です。

そのためにも園長は職場の集団づくりに力を入れ、リーダー層と連携しながらひとり一人を支えて行きたいです。

「保育の価値を低く見ているから国の予算につけるのが少ない」に対して、保育現場から積極的に豊かな保育を展開していることを社会にアピールしていくと同時に、保育の質を高めるために園内研修や自己学習などして個々が主体的に努力をしていくことも必要だと思います。

とても興味深いアンケートでした。
募集をかけても応募がない現実、深刻な保育士不足の問題ですが、アンケートの回答を見ても待遇の悪さを何とかしないと状況は変わらないと思いました。
「職場における人間関係」は園長を始めとする園の努力が必要だと思います。待遇については経営面に限界があるので行政の力が必要だと思います。
私自身は子育てしながら勤めています、やはり両立はとても難しく、祖父母も頼れない状況の中、限界を感じています。子育てしながらも、やりがいを持って保育士として生き生きと働ける職場環境を整えて行かなければならないと感じています。

現場で働く保育士の声が、このような形で表れたことはとても意義あることだと思います。特に待遇や社会的地位については、同じくらいの仕事量や責任を持つ教員、看護師に比べてとても低いと思います。ボランティア精神が大切な仕事かもしれませんが、ボランティアでは生活できません。
このアンケート結果をぜひたくさんの人に見ていただき、保育士の待遇UPにつなげたいです。

男性保育士の雇用について、保育面・環境面でのデメリット・メリットや実際に働いている男性保育士の保育にかける気持ちなどが参考になりました。

保育士の仕事は他の仕事と違って、それは人間として一番大事な時期をともにするため、(人格、性格的な内面性が影響する為)人間性を重視したいです。

保育士として働く場合、職場の人間関係が重視されるというアンケート結果が出ているため、園での環境を整えて行くことが大切だと改めて実感しました。このアンケートを元に、より働きやすい環境を作って行きたいです。

男性保育者が思った以上に各園に勤務していることに驚かされました。どのアンケート内容の答えもそうだろうと納得のいく答えでした。この内容(答)を保育界として少しでも働き易く、働き続けられる生きがいのある職場にしていかなければと思われました。

保育士の給与が低いというのは本当に問題だと思います。せめて東京と同じくらいは保証してあげたいと思いますが……。できるだけサービス残業がないように、また、職員同士のトラブルが減るように配慮していきたいと感じました。そして、何よりも保育の楽しさややりがいをもっと伝えられると良いです。

「福祉の名の基に……」安い賃金で職員を動かせてしまった時期は大分昔の話になり、「保母」なんて仕事をしていれば、良い所にお嫁に行ける。なんて花嫁修業のように思っていた時代はずっと昔、花屋のバイトのように、いつかお店を開くための勉強のための仕事でもないので、時給850円なんて、都内の最低賃金のような金額で資格を持った人が働くと思ったら大間違い、朝早くから夜遅くまでも当番があり、その上大事な命を預かって、身を粉にして子ども達の面倒を見て、事故があったら全部保育士の責任、インフルエンザ等の病気をうつされ、保護者からの苦情も多く、一挙手一投足にも気を使う毎日、やってられないと思う人たちがいるのもいたしかたないかもしれません。

保育園の委託費は、職員の平均勤続年数8年、民間施設等改善費(通称民改費)は12パーセントで計算されています。職員の勤続年数が長くなれば長くなるほど、全体の人件費比率は大きくなり、経営を圧迫します。新園の開園、改築や増築の費用の支弁も行政を頼れなくなると、人件費を削らざるを得ません。制度そのものの改革が進まないとこの状況からは脱却できないと感じます。今後も意見を集約し、より良い職場環境の構築を目指したいと思います。

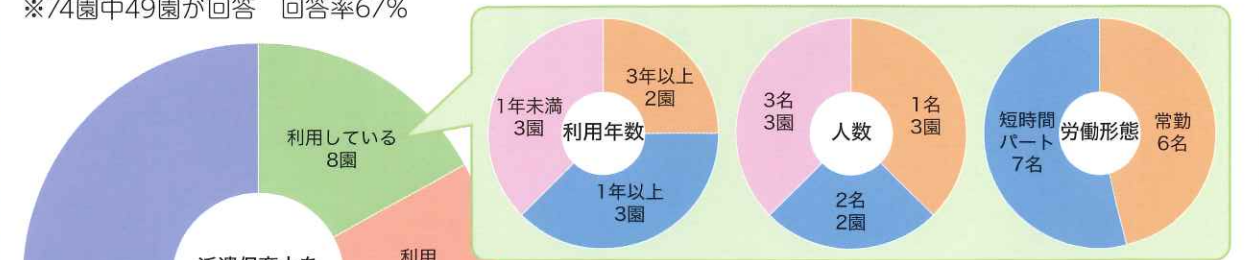
よく、集計されているアンケートだと思いました。まとめて書かれていた
①職場の環境
②「待遇」でまとめられた内容はまさにその通りだと思いました。
私の園も男性保育者がいますが、心配なのは生活の事です。保育士の処遇改善に向けて力を合わせて行かなければ強く思います。

20年30年勤めても、給与が一般企業のように順当に上がっていくことがないので、将来の自分の姿がイメージできない。特に男性保育士は給与のマックスが見えてしまっているので、色々な面で保育士の仕事が長期間でき、希望を持って一生の仕事になるように、委託費も現場のベテラン保育士が経験と知識に見合った待遇が得られるようにならないと、経験加算が充実していかないと、いつまでたっても優秀な人材が集まらないと感じました。

保育士の本音が垣間見られ良かったと思います。

「派遣保育士を利用していますか」

※74園中49園が回答 回答率67%



派遣料金…無資格 1H 1,450~1,600円(税別)
有資格 1H 1,650~1,800円(交通費を含むかは派遣業者による)
紹介料金…年収の20%(正社員として採用の際)
保育士の採用が難しい時代になりました…。

御意見をお聞かせください

- 働きが悪かった。
- 当たりはずれがあるが割り切っているので特に問題はない。職員も普通に接している。
- 求人が来なかったら使おうと話は出ている。
- 昨年度は全く応募がなくて利用することにしました。幸いにも3名全員前向きな方なので利用して良かったです。
- 年度途中からの産休育休中の職員の補充のために採用しています。派遣法による抵触期間の関係で引き続き雇用は難しくなっています。

第6回定時総会開催

去る5月22日さいたま市南区役所内武蔵浦和コミュニティセンター多目的ホールに於いて、さいたま市私立保育園協会の第6回定時総会が開催されました。

ご来賓として、さいたま市子ども未来局より局長高瀬賢司氏、保育部保育課より課長住谷安夫氏他3名、さいたま市私立幼稚園協会より会長勝田寿郎氏、埼玉県私立保育園連盟より事務局長久保田泰雄氏、さいたま市学童保育連絡協議会より会長西田隆良氏、事務局長加藤哲夫氏、さいたま市ナーサリールーム保育連絡会より会長西館英子氏、さいたま市家庭保育連絡会より会長柳原和歌子氏をお迎えし、54園が出席しました。議事は三須副会長の司会で開会し、さいたま市私立保育園協会剣持浩会長は今後、ナーサリールーム・家庭保育室・学童保育と連携を取り保育園や新制度が子どもたちにとって良いものになるようにと挨拶しました。その後、平成25年度事業報告、収支決算書報告及び監査報告、平成26年度事業計画及び収支予算書等についての第1号議案から第5号議案が可決され、第6回定時総会は無事幕を下ろしました。



部会活動

平成26年度 予算対策部会

部長 金子 正年

事業計画

- 27年度予算要望
- 市単独補助金増額の要望（職員処遇改善費・施設運営費・研修費・給食費・耐震等への補助金の増額要望）
- 全国政令指定都市の認可私立保育園団体との連携を強化し、保育界の動向を見据えた予算対策
- 議会・行政との関係を強化し、認可保育園への理解と今後の運営の向上に努める
- 協会理事を交えての勉強会

- 協会理事を交えての勉強会
- さいたま市議会各会派との懇談会

平成26年度 調査・研究部会

部長 増永 久美子

- 幼児教育研究調査委員会への出席（さいたま市立幼児教育センター）
私立保育園・公立保育園・幼稚園・小学校関係者による委員会。アンケートを実施する予定。
- さいたま市保育園協会会員園に新制度前の1年なので、調査したい内容は様々あると思います。会員の声も聞き、部の中で検討していく。
- 他の部とも連携して、必要な情報の調査を行う。

平成26年度 食育部会

部長 和田 明子

今年度もさいたま市内の私立保育園に通う子ども達が、食を通して健やかに成長が出来る様、お手伝いをしていきます。又、各園の栄養士の交流を図り、意見交換を行い、よりよい給食献立を目指していきます。

- 勉強会
- 調理講習会（各園の栄養士など給食に携わる職員対象）の実施
- その他、必要に応じて研修を開いていく

●平成26年度スケジュール

- 平成26年9月 調理講習会
- 平成27年2月 勉強・意見交換会
- 食育部会開催
- さいたま市食育推進協議会委員 部長 和田 明子 出席
（任期 平成25年4月1日から平成27年3月31日）

平成26年度 研修部会

部長 中嶋 貴子

子ども一人ひとりの健やかな育ちの保障と、保育の質の向上を提供すると共に、保育士が安心して働ける保育園になるための研修を行います。

●研修・交流会

理事長・園長	福祉制度や補助金に関する現状
保育士研修	- 一人ひとりの子どもが健やかに育つための、保育の質を高める研修 - 保育園の質を高め、保育士と共に歩むための研修など
主任交流会	
看護師交流会	
保育園見学・研修会	さいたま市私立保育園（1、2園を予定）

平成26年度 広報部会

部長 和田 喜美

会員相互の交流を図り、保育界の情報、子育て支援に関する情報、研修会の報告と園紹介の特集など会員の皆様に向けた広報誌を発行します。

年間活動計画

平成26年 6月	「みらい11号」の構成・特集の企画、組み立て
11月	「みらい12号」の構成・特集の企画、組み立て

誌面内容

- ・保育界の情報
- ・子育ての情報
- ・研修、講演会の取材、報告
- ・各部会の活動報告
- ・特集記事の企画
- ・園紹介



夏の オススナ メニュー



サンラータン 酸辣湯



材 料 (6人分)

かに肉.....70g (ほぐす)
絹ごし豆腐.....1/2丁 (5mm角)
干しいたけ.....2枚 (戻して千切り)
たけのこ(水煮).....30g (千切り)
春雨(乾物).....15g (戻して適当な長さに切る)
黄にら.....50g (5mm長さ)
卵.....1個
ねぎ.....10cm (みじん切り)
しょうが.....10g (千切り)
A { 水.....3カップ
中華スープのもと.....大さじ1
醤油.....大さじ1/2
塩.....少々
胡椒.....適量
水溶き片栗粉.....適量
酢.....大さじ2
ごま油.....小さじ1
ラー油.....小さじ1
香 菜.....適量 (5mm長さ)
サラダ油.....大さじ1

作り方

- 鍋にサラダ油を入れ、しょうが、ねぎを炒め、Aを入れ、干しいたけ、たけのこ、春雨、を入れる。
- 水溶き片栗粉でとろみをつけ、豆腐、かに肉を加えて、豆腐が温かくなったら、黄にら、卵を流し入れ、火を止める。
- 器に酢、ラー油を加え、熱々の②を器に注ぎ、香菜を散らす。

冷し豚しゃぶの 梅肉ソース



材 料 (6人分)

豚肉ロース(薄切り).....300g
レタス.....3枚
きゅうり.....1本
えのきたけ.....1/4袋
みょうが.....2個
プチトマト.....12個
〔梅肉ソース〕
練り梅.....大さじ2
醤油.....大さじ2
煮切りみりん.....大さじ1
ごま油.....大さじ1
白いりごま.....大さじ1

作り方

- 鍋に湯を沸かします。沸騰したら豚肉を茹で、氷水にとります。
- レタス、キュウリ、みょうがを千切りにします。えのきは石づきを取り、長さ半分に切ってサッと茹でます。野菜を大皿に盛り、①のをせ、周りにプチトマトを飾ります。
- 梅肉ソースを合わせ、材料にかけて頂きます。



グレープフルーツ セグメント

材 料 (6人分)

グレープフルーツ.....1個
砂糖.....20g
ゼラチン.....10g
水.....100ml

作り方

- ゼラチンは水(100ml)で膨潤させておきます。
- グレープフルーツは横半分に切り、グレープフルーツ絞り器でしぼってから袋をとり、グレープフルーツのカップを作ります。果汁を濾します。果汁に水を加え液体を160mlにします。
- ②を温め、砂糖を加えて溶かします。
- ①のゼラチンを湯煎にかけ、溶かします。これを③に加え、グレープフルーツカップに注ぎます。
- カップごと冷やし固めます。固まったら放射状1/3に切り、季節の花をあしらって盛り合わせます。

ちょっと聞いてみました！

- 毎日の給食の展示は、子どもの食器ではなく、写真のように盛りつけて展示をしているのですか？
「展示は子どもの食器で、幼児の食べる量を展示しています。今回は、夏のおすすめ、夏バテ予防メニューと伺っていたので、大人に人気のメニューも入れてみました。」
- カロリー、旬の食材はもちろんですが、献立で大切にしていることは、どんなことですか？
「献立作成で大切にしていることは、栄養バランス、旬の食材以外に、色彩や料理の組み合わせ(調理法や味も含めて)です。」

- 食欲が低下しがちな、夏の時期は、どんなところに留意をしたらよいですか？
「酢やレモン、香味野菜を上手に取り入れたり、彩や盛り付けをきれいにし、五感をフルに活用できる料理の工夫をすると良いですね。」

- 参考になる、ちょっといいお話がありましたらお聞かせください。
「夏野菜には、水分やカリウムを多く含むものが多く、身体にこもった熱をクールダウンしてくれます。夏に不足しがちな栄養素も含んでいるので夏野菜をしっかり摂りましょう。」

回答者 あおぞらウィンクルム保育園 園長 大野智子

わくわくが いっぱい!

東浦和たいよう保育園

楽しかったゴミスクール



おうぎの森保育園

どろんこあそび



田んぼの余ったスペースでどろんこ遊びをしました。最初は嫌がっていた子も終わるころにはどろだらけ(笑)。おやいや、かわいいワニさんも出ましたよ!「がお〜」



こびとの森保育園

先生方張り切っています



おたんじょう日会の出し物「三枚のお札」



アーバンみらい東大宮プライムキッズガーデン

梅干し作り



でき上がりが楽しみです。

新 会 員 紹 介

- 社会福祉法人 一樹福祉会 大宮みぬま保育園
園長 … 岡田美智子 所在地 … 〒337-0053 見沼区大和田町2-1633
- 社会福祉法人 俊江会 西遊馬保育園
園長 … 矢島純子 所在地 … 〒331-0061 西区西遊馬771-11
- 株式会社ニチイ学館 ニチイキッズさいたま保育園
園長 … 元山 泉 所在地 … 〒338-0823 桜区栄和5-15-39
- 社会福祉法人 まあれ愛恵会 東浦和たいよう保育園
園長 … 布崎恵理佳 所在地 … 〒336-0926 緑区東浦和4-14-7
- 社会福祉法人 未来保育会 未来ほしの子保育園
園長 … 大原宏美 所在地 … 〒331-0052 西区三橋5-35
- 社会福祉法人 芳真会 きらめき保育園
園長 … 大塚マサエ 所在地 … 〒337-0042 見沼区南中野689-1

編集後記

昔から「かわいくば、二つ叱って、三つ誉め、五つ教えてよい子育て」ということがいわれてきました。また、「七つ誉めて、三つ叱れ」ともいわれています。言葉に多少の違いはありますが、叱るよりは、誉めるほうを多くするという点は共通していますね。

仕事と家庭、子育てと奮闘している先生、そして新人の先生、保育の現場でも同様に考えてみましょう。夜、我が子が寝た後や今日の保育を振り返った時、危険を回避しようとして、命令や禁止の言葉が多くなっているかもしれません。今日は何回誉めてあげたか、何回叱ったかを考えてみましょう。誉めたことが思い出せない人、叱った数の方がずっと多かったように思う人は、明日はことわざにもあるように、よい子に育てるコツを実行してみましょ。

さて、小学校の先生との懇談で伺ったお話です。「以前に比べ登校拒否の生徒が増えました。・お母さんと一緒にいたいから。・宿題が嫌だから。保護者の中には、宿題を出さないでください」と言われるかたもいるとか…。保育園の役割は、大きいですね。頑張ります。

広報部 和田喜美

表紙の写真

隣の空き地では小学生が虫取りに興じています。境界線を隔てて、それぞれの生活が進んでいますが、お互いに五感を働かせています。そろそろ保育園の給食の献立が気になる時間に……

向こころ保育園